

[Do] 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要

手段

①事務事業の概要（事務事業の全体像）

・年に2回春と秋の火災予防運動期間中に、消防署の協力のもと消防団による火災予防パレードを実施している。岩瀬、大和、真壁の地区ごとに岩瀬地区が8ないし9個分団、大和地区が全7個分団、真壁地区が全12個分団で、分団員が乗車する車両により火災予防をアナウンスしながら街中を約2時間かけて周回する。  
・パレードに併せて、火災予防キャンペーンとして消防署の協力のもと女性消防団員による住宅用火災警報器の設置促進活動を市内のスーパーマーケットの店頭で実施している。買い物に来た住民を対象に、約1時間、チラシや啓発品を配布したり、デモ機で説明したりして火災警報器の設置を啓発している。

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

・火災予防パレード・・・出発会場準備、道路使用許可申請、関係者への案内通知の発送  
・火災予防キャンペーン・・・スーパーマーケットへのキャンペーン実施申請、チラシの作成、啓発品の手配、デモ機の借用申請

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）

④活動指標（活動量を表す指標）

単位

30年度  
（実績）

01年度  
（実績）

02年度  
（計画）

03年度  
（目標）

04年度  
（目標）

・火災予防パレード・・・出発会場準備、道路使用許可申請、関係者への案内通知の発送

パレードの実施回数

回

2.00

1.00

2.00

2.00

2.00

・火災予防キャンペーン・・・スーパーマーケットへのキャンペーン実施申請、チラシの作成、啓発品の手配、デモ機の借用申請

キャンペーンの実施回数

回

2.00

1.00

2.00

2.00

2.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

②対象（誰、何を対象にしているのか）

⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）

単位

30年度  
（実績）

01年度  
（実績）

02年度  
（計画）

03年度  
（目標）

04年度  
（目標）

市民

桜川市人口

人

40,483.00

39,692.00

39,571.00

38,957.00

38,343.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）

⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

単位

30年度  
（実績）

01年度  
（実績）

02年度  
（計画）

03年度  
（目標）

04年度  
（目標）

火災予防意識を向上させる

住宅用火災警報器の設置率

%

80.00

82.00

82.00

82.00

82.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

30年度  
（実績）

01年度  
（実績）

02年度  
（計画）

期間限定  
総投入量

投入量

事業費

財源内訳

国庫支出金 千円

0

0

0

0

県支出金 千円

0

0

0

0

地方債 千円

0

0

0

0

使用料・手数料 千円

0

0

0

0

その他 千円

0

0

0

0

一般財源 千円

134

208

82

0

事業費計（A） 千円

134

208

82

0

正規職員従事人数 人

4.00人

4.00人

4.00人

01年度事業費 実績（千円）

02年度事業費 予算（千円）

11 需用費

208

11 需用費

82

合 計

208

合 計

82

事務事業名	火災予防啓発事業	事務事業No.	30101000665	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
・合併前から全国火災予防運動に併せてパレードを実施してきた。火災予防キャンペーンは、平成21年に女性消防団が結成されてからその事業として実施されてきたもので、平成23年に住宅用火災警報器の設置が義務化されたことで、火災警報器の設置啓発を重点的にキャンペーンとして実施するようになった。消防署から啓発について依頼されていることもあり、消防署との連携が密になっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
女性消防団員から、火災予防キャンペーンでの啓発品を充実させてほしいとの要望があった。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評 価 項 目

現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	子供から高齢者まで広く市民の火災予防意識を向上させることで火災の減少につながり、死傷者も減少する。安全で安心して暮らせる生活環境へ寄与できる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民の火災予防意識の向上は火災減少へ繋がり、それが死傷者の減少へも繋がる。市民の安全安心を守るために市が事業を行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	女性消防団には火災予防を広報する役割が期待できることから、年二回のキャンペーンに加え火災予防に関する様々な啓発活動を行うことができる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民全体へ火災予防を啓発するには、消防署だけでは人手が不足しており十分な広報ができない。消防団が中心となり地元との繋がりを利用し啓発活動を行うことで大きな効果が期待できるし、継続して行うことでその効果を向上させることができる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))	
	(他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	火災予防を啓発する事業は本事業以外にない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	キャンペーンの啓発品をなくすと啓発活動に興味を示してもらえない可能性が懸念されるため事業費は削減できない。また、現時点での必要最低限の時間であり、削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	火災予防啓発は市民全体を対象としていて、市民全域の火災減少を目的としているため特定の受益者はいない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ 毎回同じ場所で啓発活動を行っているため、対象が固定されてしまうので、会場を変更していく必要があると感じた。また、女性団員から啓発品を充実させてほしいとの要望があったので、啓発品の検討も進める。女性分団にはさらなる広報活動の役割が期待できるため、新たな啓発事業の展開も検討する必要がある。																						
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
						コスト																		
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
幅広い対象者に啓発活動を行うため、保育園等の児童を対象に紙芝居で火災予防の啓発を行う。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>